

大和中学校

学校全体の結果

621人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約324トン、一人あたりでは約522kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約60,181トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約42%となります。

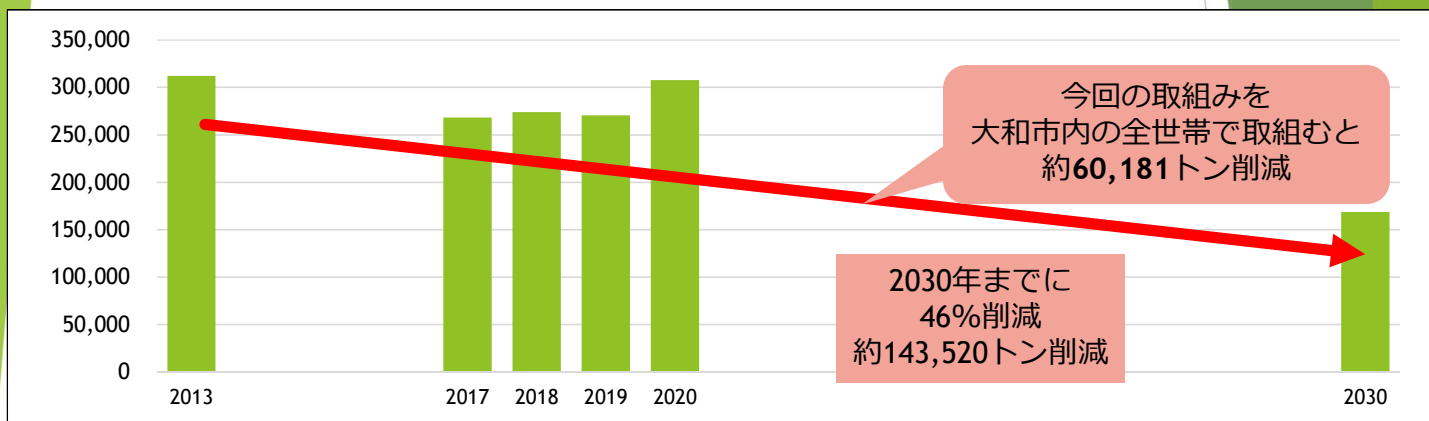


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約1111トン、2学年約1197トン、3学年約94トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。

大和市 かんきょうノート

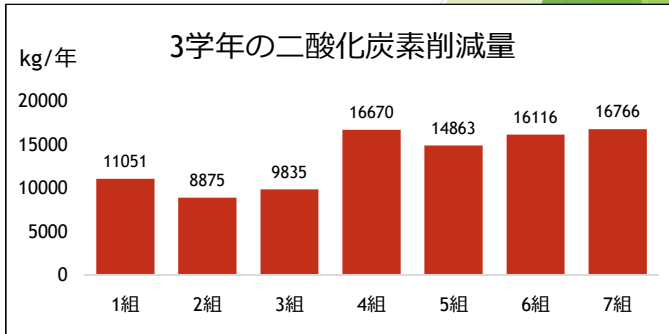
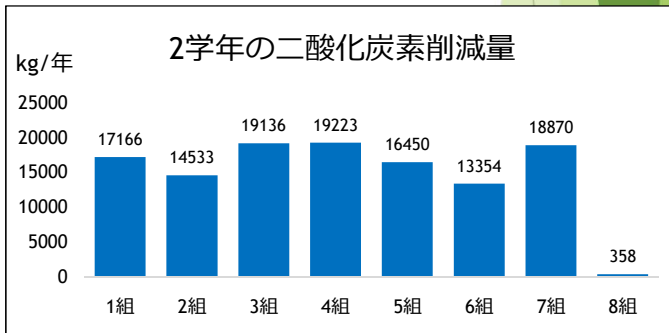
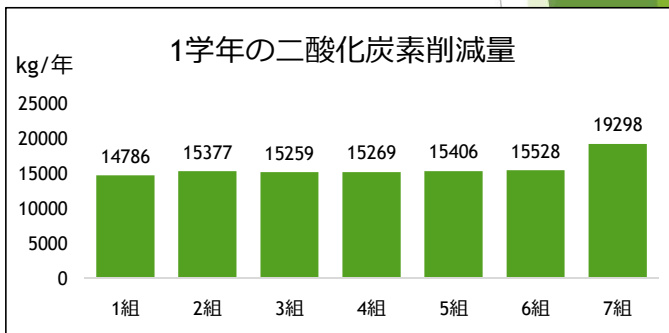


図2 クラス別の取組み後の削減量



一人一人が取組みを続け、
地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

光丘中学校

学校全体の結果

780人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約405トン、一人あたりでは約520kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約59,950トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約42%となります。

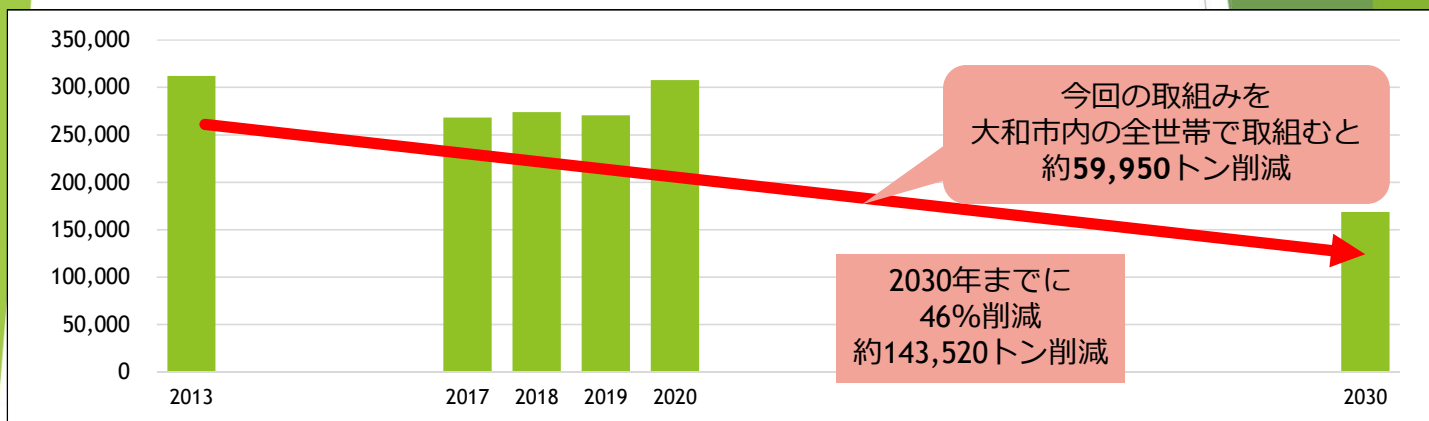


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約127トン、2学年約119トン、3学年約159トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

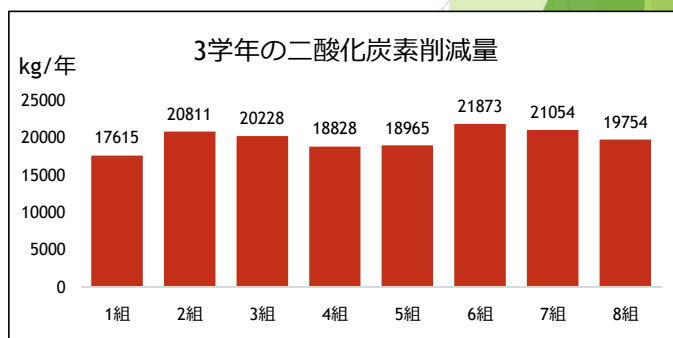
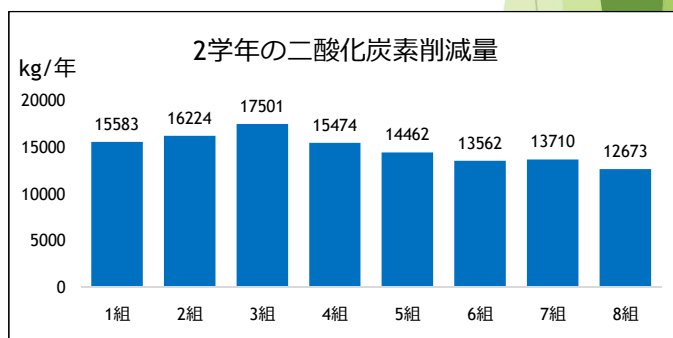
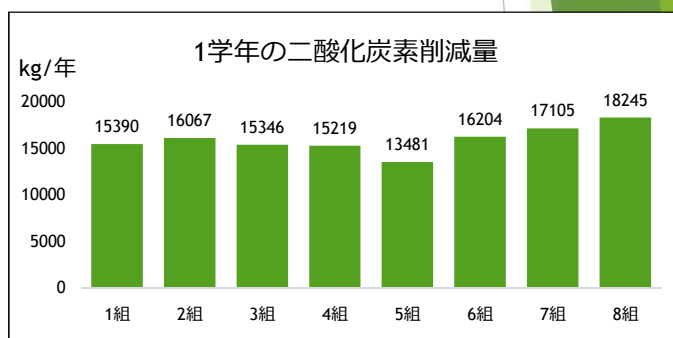
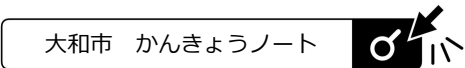


図2 クラス別の取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。



一人一人が取組みを続け、
地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

渋谷中学校

学校全体の結果

252人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約120トン、一人あたりでは約476kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約54,889トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約38%となります。

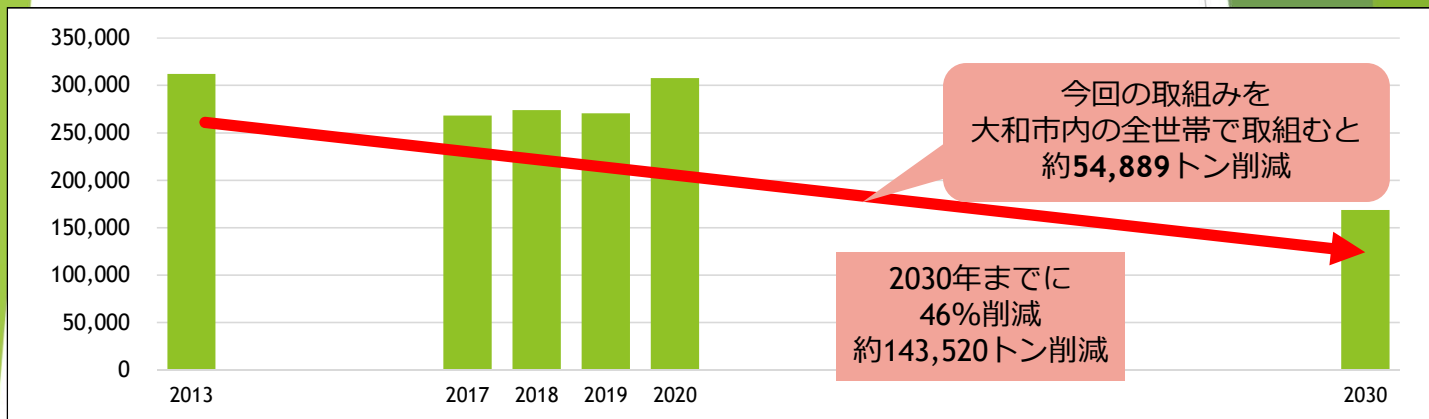


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約30トン、2学年約48トン、3学年約42トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

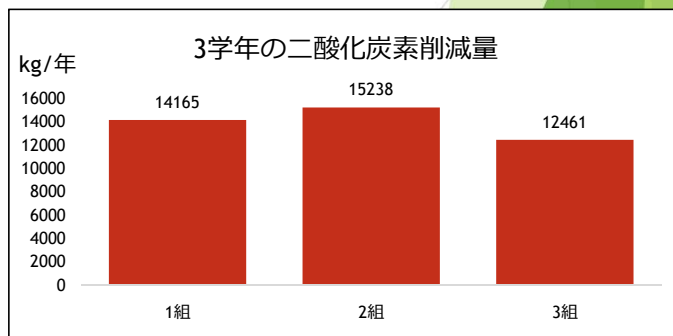
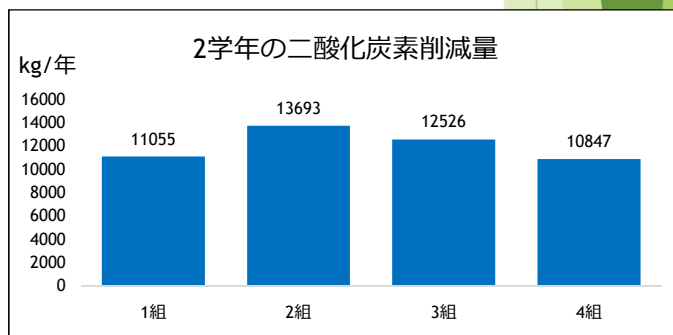
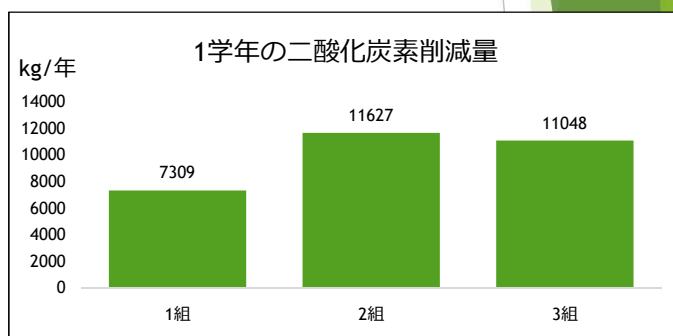
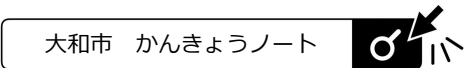


図2 クラス別の取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。



一人一人が取組みを続け、
地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

つきみ野中学校

学校全体の結果

383人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約178トン、一人当たりでは約465kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約53,575トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約37%となります。

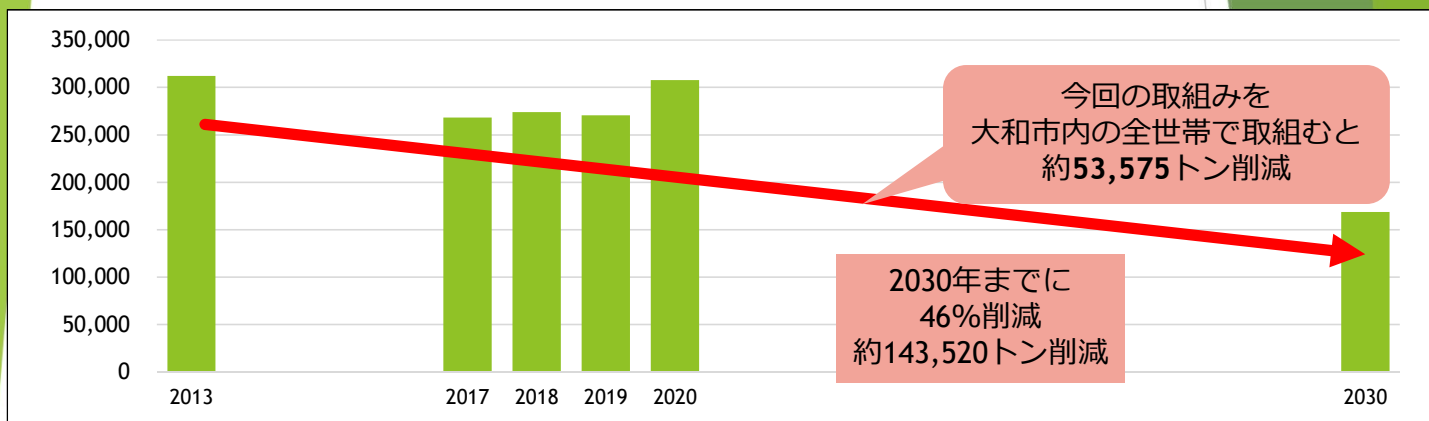


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約42トン、3学年約136トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。

大和市 かんきょうノート

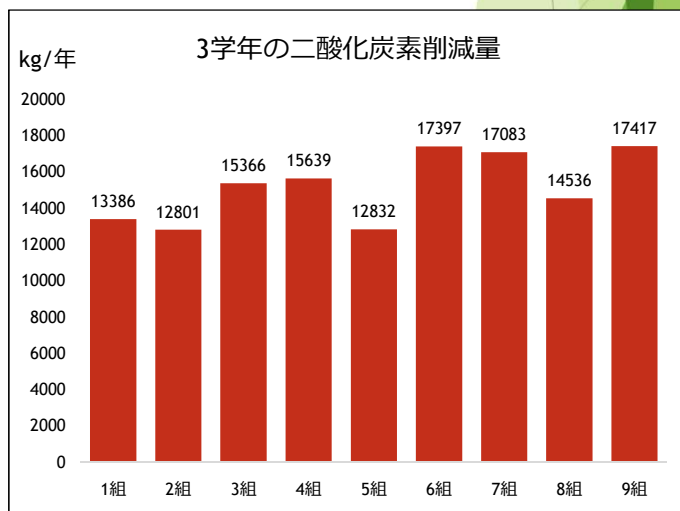
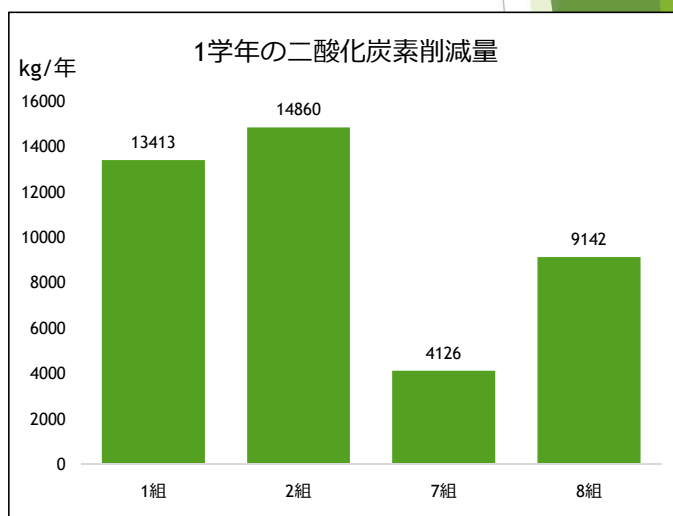


図2 クラス別の取組み後の削減量



一人一人が取組みを続け、
地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

鶴間中学校

学校全体の結果

389人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約203トン、一人当たりでは約521kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約60,100トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約42%となります。

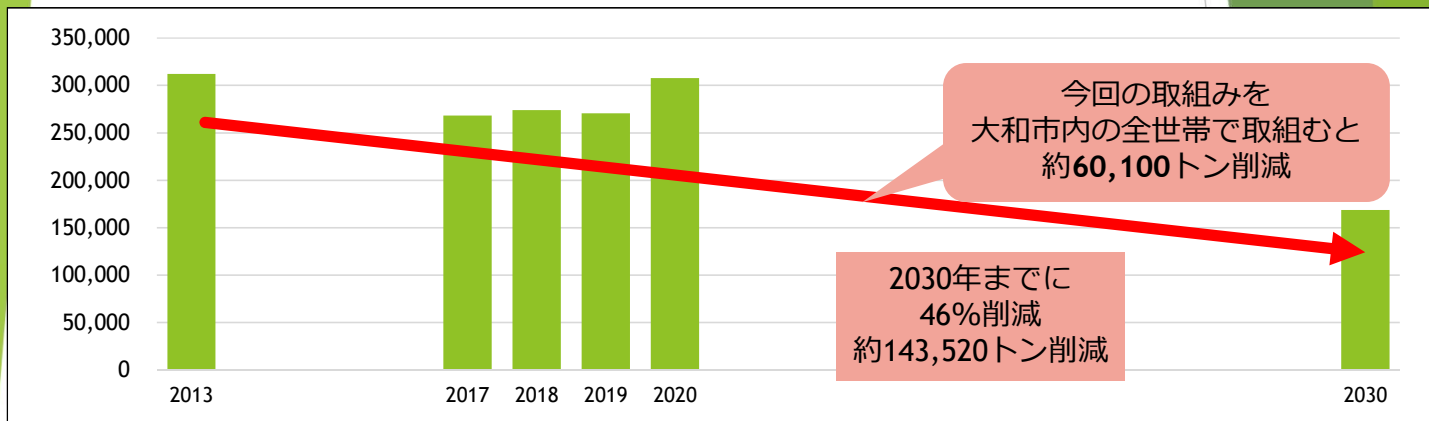


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約72トン、2学年約63トン、3学年約68トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

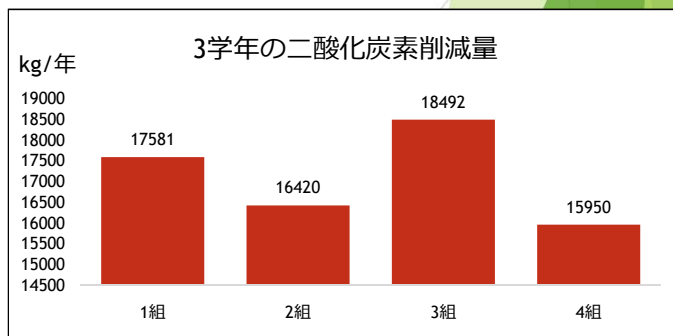
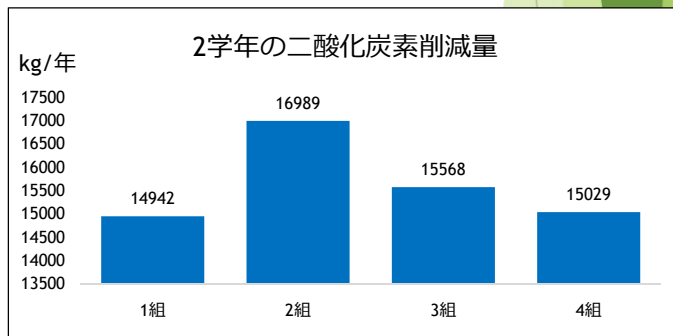
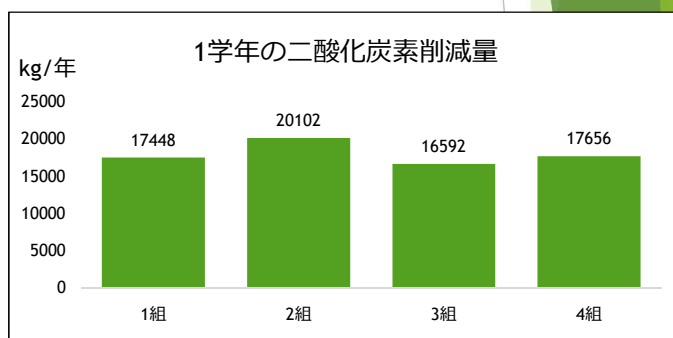


図2 クラス別の取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。

大和市 かんきょうノート



一人一人が取組みを続け、
地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

引地台中学校

学校全体の結果

283人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約125トン、一人あたりでは約441kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約50,796トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約35%となります。

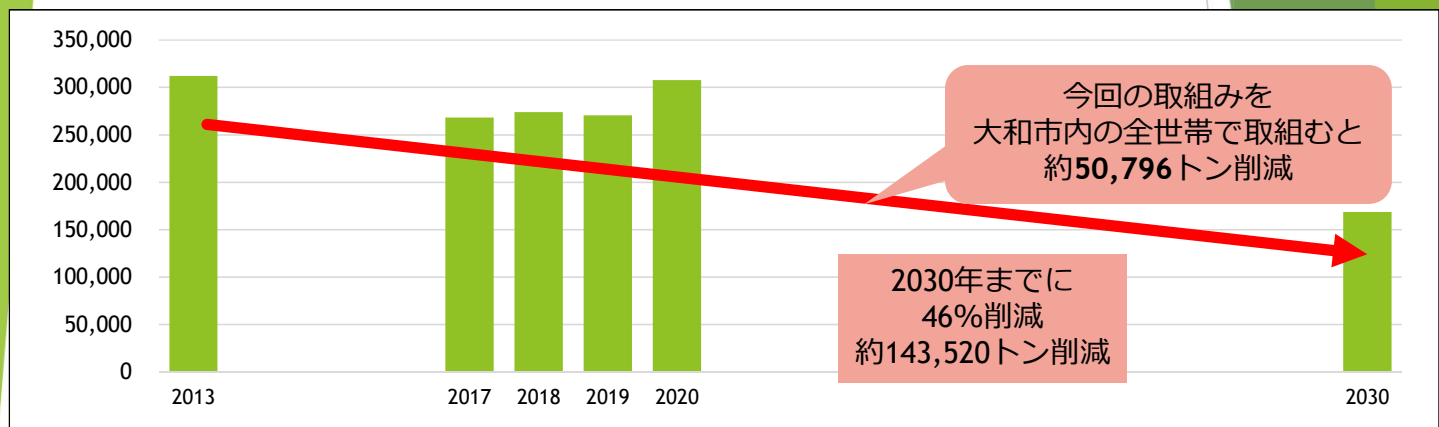
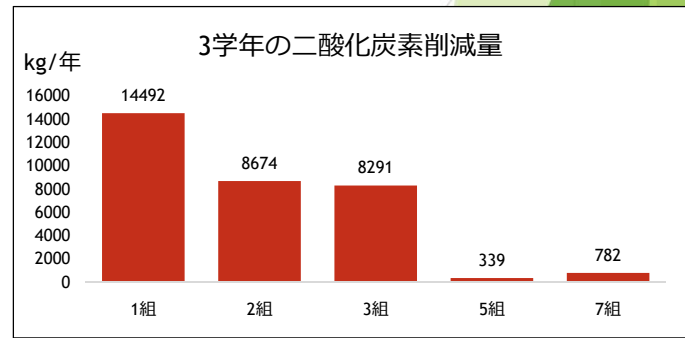
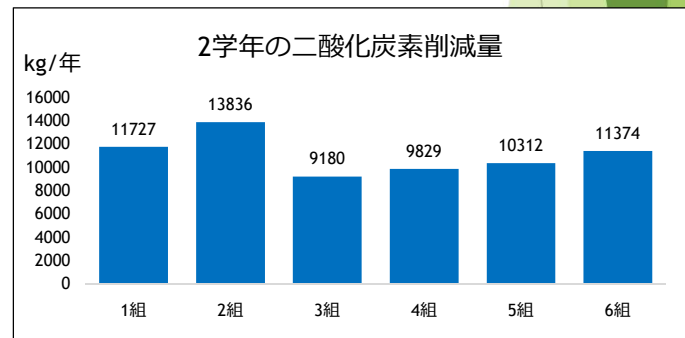
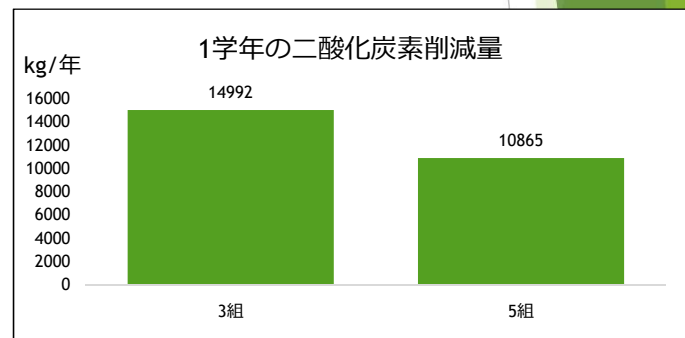


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約26トン、2学年約66トン、3学年約33トンでした。

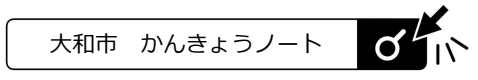
また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。



大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。



一人一人が取組みを続け、地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

図2 クラス別の取組み後の削減量

上和田中学校

学校全体の結果

256人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約134トン、一人あたりでは約525kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約60,538トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約42%となります。

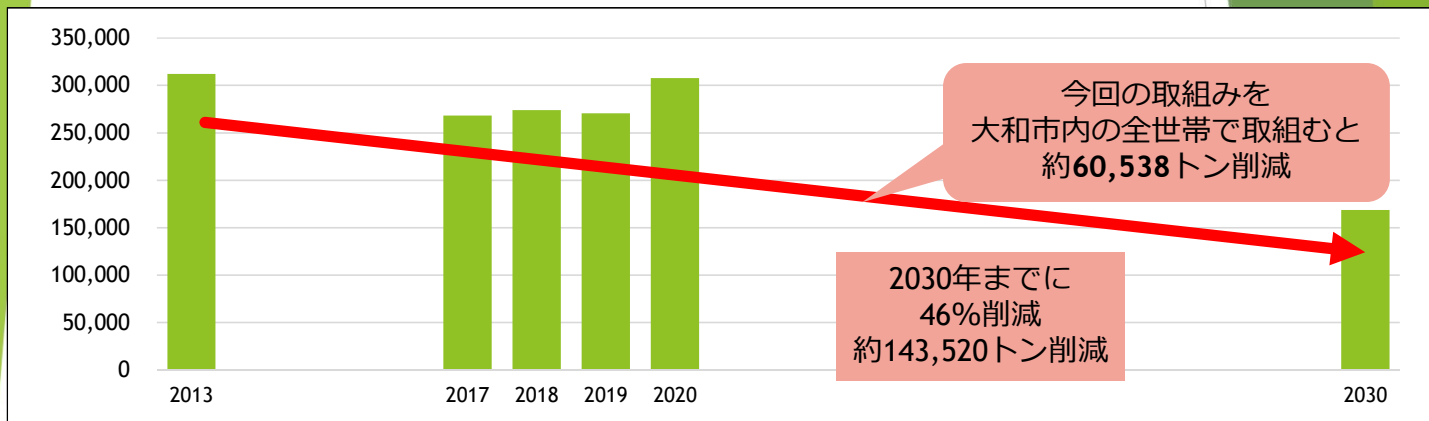


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約35トン、2学年約44トン、3学年約56トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

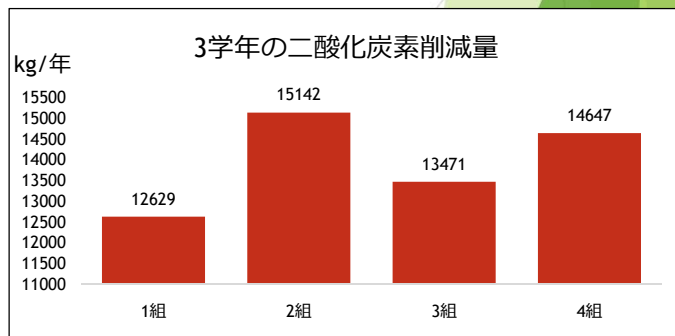
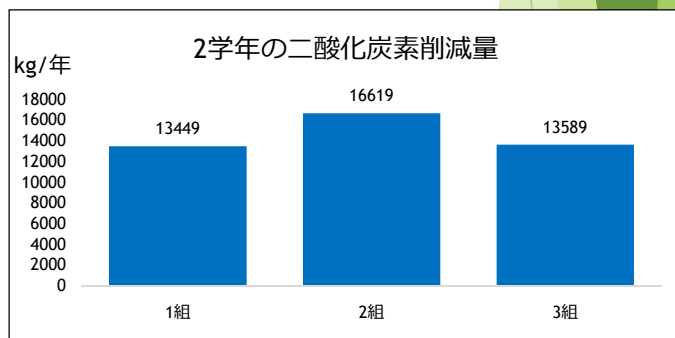
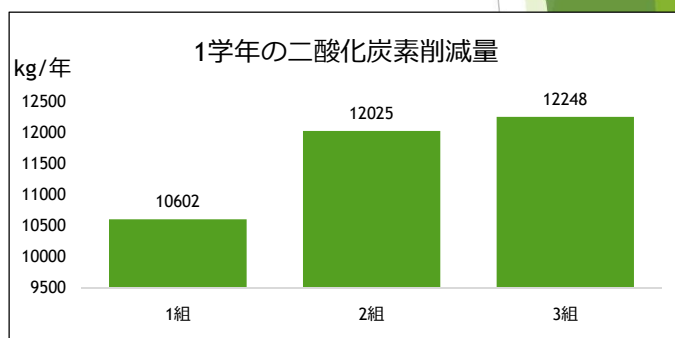
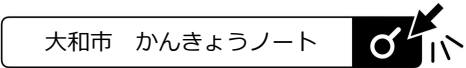


図2 クラス別の取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。



一人一人が取組みを続け、地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

南林間中学校

学校全体の結果

700人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約380トン、一人あたりでは約544kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約62,660トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約44%となります。

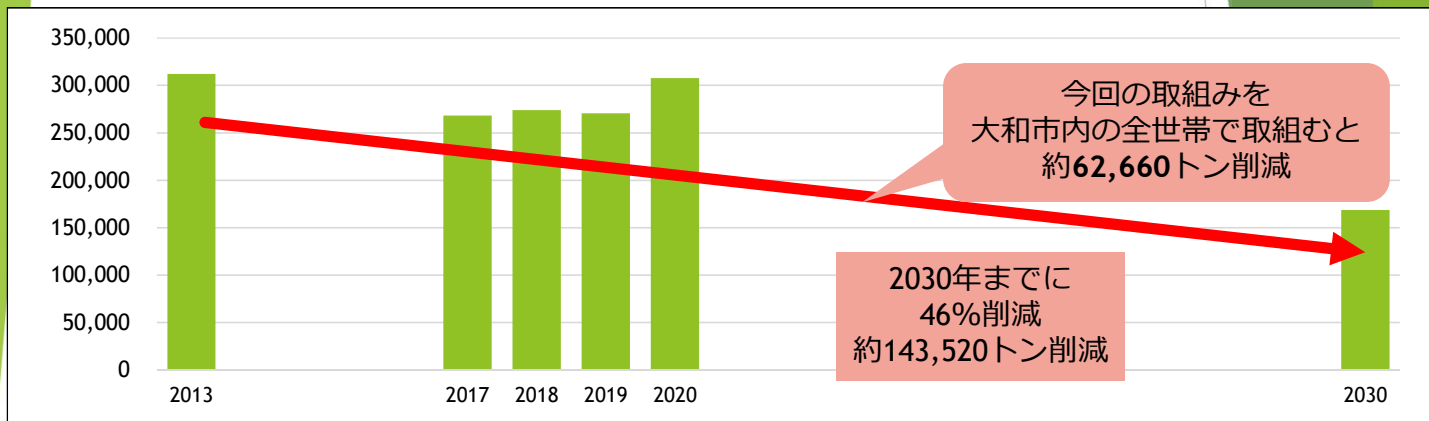


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約140トン、2学年約114トン、3学年約126トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

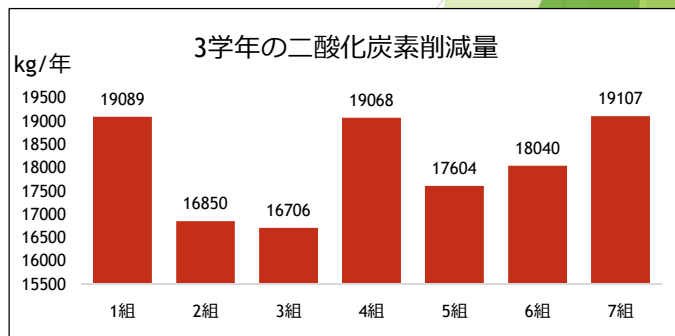
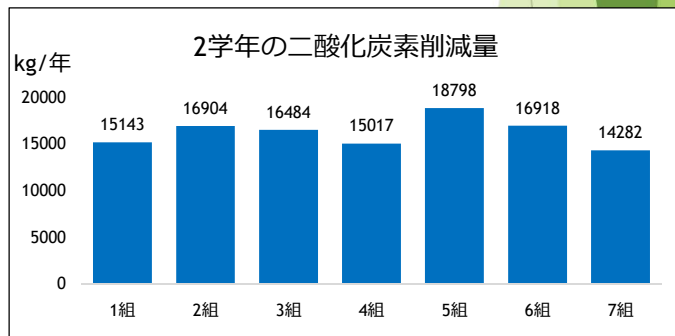
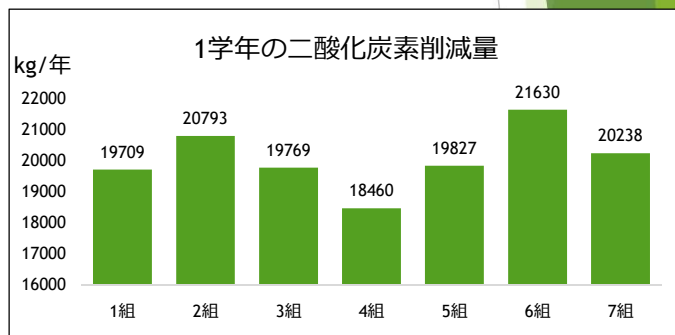
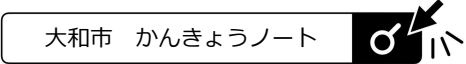


図2 クラス別の取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。



一人一人が取組みを続け、地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

下福田中学校

学校全体の結果

207人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。今回の取組みを一年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約91トン、一人当たりでは約442kg削減できることになります。

仮に、今回の皆さんの取組みを大和市内の全世帯で一年間続けた場合、二酸化炭素の排出量を約50,958トン削減することができます。これは、大和市が2030年度までに達成したい二酸化炭素排出量削減目標の約36%となります。

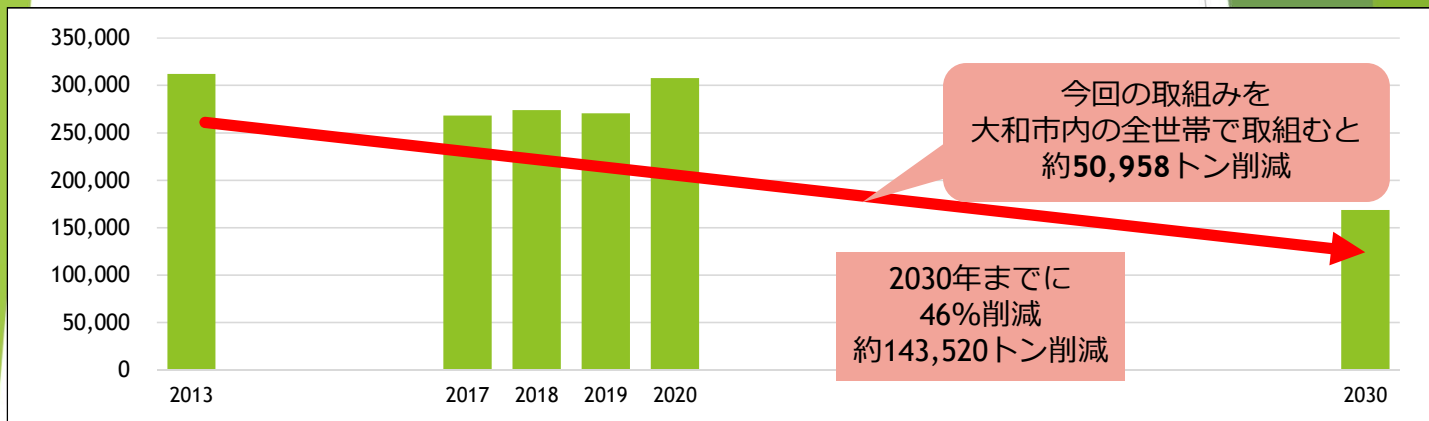


図1 大和市の家庭部門の二酸化炭素排出量

学年・クラス別の結果

学年別の取組み後の二酸化炭素削減量は、1学年約31トン、2学年約27トン、3学年約33トンでした。

また、クラス別の取組み後の削減量は、図2のとおりです。

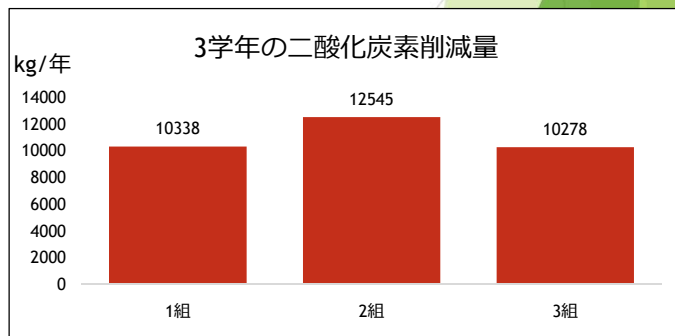
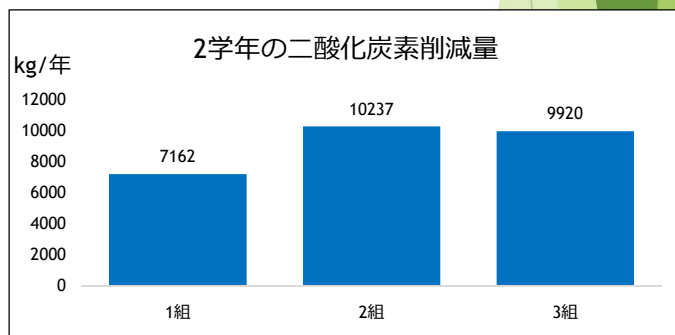
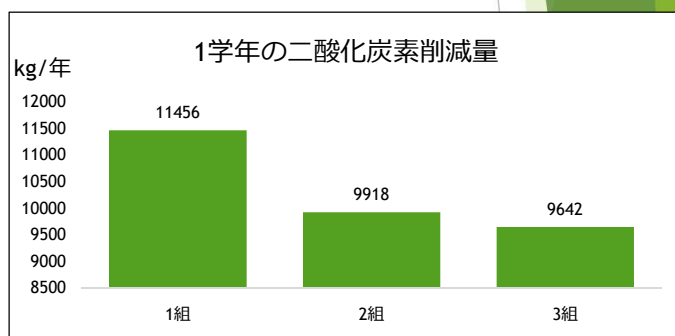


図2 クラス別の取組み後の削減量

大和市立中学校全体の結果

令和5年度は3,871人が取組みました。今回の取組みを1年間続けると、二酸化炭素の排出量を全体で約1,961トン削減できることになります。

詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。

大和市 かんきょうノート



一人一人が取組みを続け、
地球温暖化の影響が少ない未来をめざしましょう！

南林間小学校

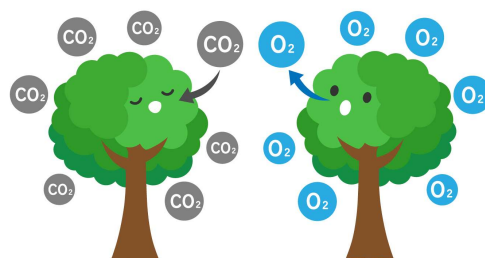
学校全体の結果

5年生の73人が「かんきょうノート」にチャレンジしてくれました。とてもうれしいです。
 今回みんながチャレンジしてくれた取組みを一年間続けると、二酸化炭素のはい出量を学校全体で約7,811kg、一人当たりでは約107kgも減らす事ができます。

みんなで減らせる7,811kgの二酸化炭素はスギの木約89本分!!

木は二酸化炭素をすって、太陽の光の力を使い、酸素をつくってはき出します。すいこんだ二酸化炭素は、木を成長させるもとになり、木になった分だけ、空気中から二酸化炭素が減ることになります。これが、木の持っている二酸化炭素をきゅうしゅうする能力です。

元気な40さいくらいのスギの木は、1年間で1本あたり約88kgの二酸化炭素をきゅうしゅうすると言われています。このことから、みんなが「かんきょうノート」の取組みを1年間続けることで減らすことのできる二酸化炭素のはい出量約7,811kgは、40さいくらいのスギの木約89本がきゅうしゅうする二酸化炭素の量とだいたい同じということが分かります。



クラス別の結果

クラス別の取組みを1年間続けた場合に減らせる二酸化炭素のはい出量は、1組 約2,562kg/年、2組 約2,760kg/年、3組 約2,489kg/年でした。図1は、その結果を、クラス別にスギの木の木数で表したものです。



図1 スギの木で考えたクラス別の1年間で減らせる二酸化炭素はい出量

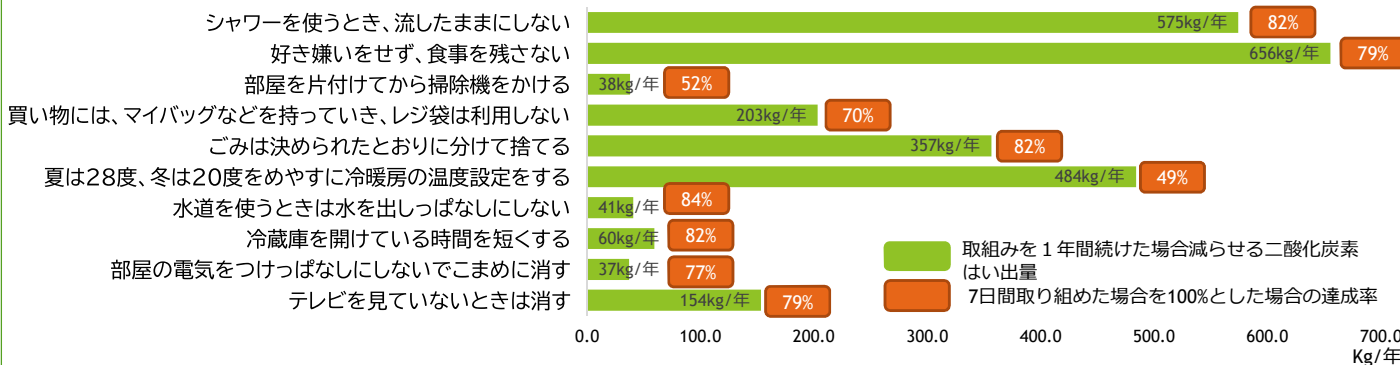
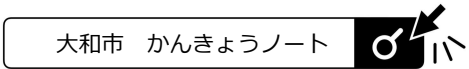


図2 取組み別の1年間で減らせる二酸化炭素はい出量と達成率

中学校でも取り組みました

大和市内の公立中学校9校でも、3,871人が「かんきょうノート」に取り組みました。中学校での取組みを1年間続けると、二酸化炭素のはい出量を全体で約1,961トン減らすことができます。詳しくは、大和市ホームページの“令和5年度 市内小中学校における「かんきょうノート」の取組みについて”をご覧ください。



達成率が低くても（できた人が少なくても）、はい出量をたくさん減らせた（効果が大きかった）項目があるね！



一人の力は小さくても、みんなで取組めば大きな力になるよ！
 みんなで続けよう！